

スポーツ振興課長の仕事宣言！

スポーツ振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります
②目標値	市有体育施設利用者数 〔令和元年度〕 現状値 669,892人 ⇒ 令和元年度末 670,000人 〔後期基本計画期間〕 平成26年度 627,181人 ⇒ 令和2年度 650,000人
③今年度の取組方針	生涯スポーツの普及に努め、市民の健康・体力づくりを行うとともに、各種スポーツ大会、教室の開催や地域でスポーツに親しむ環境づくりを促進し、全国規模の大会への派遣などを行い、競技力の向上を図ります。また、ホームタウンとするプロスポーツチームへの支援を行います。
④今年度の取組結果	地区スポーツ教室、青少年体力づくり推進事業、クロスロード・スポーツレクリエーション祭選手選考会、市民スポーツフェスタ、クロスロード・スポーツレクリエーション祭、ロードレース大会、スポーツ・レクリエーション祭等の大会を実施するとともに、全国大会出場費補助金の助成や世界大会出場へのスポーツ奨励金の交付など、スポーツを「する・親しむ・出場するなど」機会の創出を図りました。 また、久光製薬スプリングスのホームゲームでのおもてなしや観戦PRの支援等を行いました。更に、(株)サガン・ドリームス及び佐賀県プロサッカー振興協議会と意見及び情報交換を行い、新体制発表会を鳥栖市との共催で行うなどサガン鳥栖の支援等を実施しました。
⑤数値目標の結果	市有体育施設利用者数：630,352人（令和2年1月現在）
⑥成果と課題（次年度に向けて）	各種大会等が円滑に実施できており、引き続き、体育協会加盟団体やスポーツ推進委員と連携して取り組みます。 また、(株)サガン・ドリームス及び佐賀県プロサッカー振興協議会と引き続き連携し、サガン鳥栖への支援等の実施に努めます。

◇所管部長の指示

市民スポーツフェスタやロードレース大会等については、スポーツ推進委員や種目団体等の関係者の協力により円滑に実施できている。今後もスポーツ推進委員や種目団体等の関係者との連携を深め、スポーツに親しむ機会の充実に努めること。

サガン鳥栖支援については、(株)サガン・ドリームスとの情報交換、情報共有に努めること。

スポーツ振興課長の仕事宣言！

スポーツ振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	スポーツ団体・指導者の育成を行います
②目標値	市民スポーツセミナー（指導者向け）参加者数 〔令和元年度〕現状値 40人 ⇒ 令和元年度末 50人 〔後期基本計画期間〕平成26年度 25人 ⇒ 令和2年度 50人
③今年度の取組方針	鳥栖市体育協会や鳥栖市スポーツ推進委員協議会と連携した指導者の養成・確保を行うとともに、フィット鳥栖の活動を支援します。
④今年度の取組結果	市体育協会の総会、各種会議に参画するとともに、県民スポーツ大会に向けたチームや選手の強化を支援し、大会当日の激励を実施しました。 スポーツ推進委員の定例会、実技研修会、地区スポーツ教室等を開催し、スポーツ指導の知識や技術の向上に努めました。 また、フィット鳥栖の定例会や研修会の開催を支援し、指導者を対象としたスポーツセミナーでは40人の参加を得てスポーツ指導者としての資質向上に努めました。
⑤数値目標の結果	市民スポーツセミナー（指導者向け）参加者数：40人
⑥成果と課題（次年度に向けて）	体育協会・種目競技団体、スポーツ推進委員及びフィット鳥栖と連携してスポーツ振興に取り組むために、引き続き支援・育成に努めます。

◇所管部長の指示

今後とも、体育協会や鳥栖市スポーツ推進委員協議会と連携し、研修会等を通じ、スポーツ団体の支援や指導者を育成するとともに、フィット鳥栖の支援に努めること。